

有限会社寄清堂印刷

検品作業低減を目的とした 検知カメラ搭載の新型紙折機の導入

創業百二十年目の選択 検知カメラ搭載新型折機
関東以北初導入で信頼性向上 新たな活路を見出す

事業の背景・目的

最近の傾向として、デジタル化の影響もあり印刷物が減少傾向にある。以前は、パソコン等の取扱説明書は印刷した冊子だったが、最近は画像付きのCD-ROM・DVDまたは電子カタログ等に替わりつつある。しかし、化粧品や医薬品の箱に入っている小さな能書や取扱説明書は必要なものであり、CD-ROM等になることはない。そこで一つの分野として確立していく方向で進めていた。

能書、取扱説明書はデータ入稿

で大量に印刷するものとしてこれまでも受注していたが、他の印刷物と比較して高い品質が求められる。汚れがあったり、両面印刷の片面が印刷されていない等は許されない製品である。検品は人の目と手で確認するパラ検を行っていたが、同じお客様からの受注品にミスが重なったこともあり、機械化を検討していた。高価なものであるため踏み込めずいたところ、今回の事業を知り事業計画に至った。

事業内容

関東以北初、検知カメラ搭載の新型折機を導入することで、検品ミスをなくし事業の効率化を図る。

この折機は、印刷紙の給紙部後のコンベアに検知カメラを上下に搭載し、印刷物を両面同時に検品し、不良と判断された製品は別の箇所に排出される。通常、カメラは上下に1台ずつ設置されているが、2台に

増設して幅が広いサイズのものでも検知できるようにした。

能書、取扱説明書は大手ナショナルスポンサーの製品に入る印刷物のため、品質だけでなく紙の種類や原材料まで厳しく問われる。それだけ厳しい製品を納品できるのは信頼につながるものである。



検知カメラ搭載の新型折機。



給紙部の後のコンベアに検知カメラを上下に搭載してある。

DATA

有限会社寄清堂印刷

印刷・加工全般
オンデマンド印刷
ホームページ制作
カラーマネジメント
電子書籍



代表取締役
桑島 周士

住 所
東置賜郡高畠町
大字一本柳2519-1

電 話
0238-52-0005

FAX
0238-52-0003

e-mail
rep-air@kiseidoh-p.com

創業年
明治28年4月

設立年
平成2年8月

資本金
300万円

従業員
20名

事業の成果

この機械の導入で、今まで行っていた目視による全数検品や抜き取り検査等に大幅な行程短縮がなされ、短納期の要求にもこたえることができ、尚且つ残業が大幅に改善された。

一番には当社製品への信頼性も格段に向上し、新たな顧客の獲得

が見込める。また、印刷を伴わない折加工だけの受注も増えた。折加工だけの受注は材料費がかからないという利点がある。

機械を導入してから稼働しなかった日はなく、この分野の受注は確実に伸びている。



不良と判断された製品はどこに不備があったのかモニターで確認。
人間の目では確認できないほど小さな不良もはじかれる。

今後の展望

新たな顧客の獲得を目指していく。当初は折機の導入だけであったが、強力プレスで折りのふくらみをプレスし、美しい仕上がりにするプレスカッター機も導入。また、直角2回折りができるようにとモバイルナイフユ

ニット、さらに折加工品が横に刺身状にながれてくるものを縦に揃えることも可能なコンベアも導入し、印刷加工の幅をひろげている。この点をアピールし、技術力と信頼力で新規営業に活かしていく。